

（仮称）大谷・杉久保地区公園整備事業における民間活力導入に向けた サウンディング型市場調査の結果について

1. 調査の目的

海老名市では、東名高速道路の海老名 SA に隣接した杉久保北三丁目の計画地において、海老名の魅力を発信するとともに、地域に活力を生み、暮らしを豊かにする地域拠点を目指した「（仮称）大谷・杉久保地区公園」（都市公園）を整備する予定です。

本サウンディング調査は、（仮称）大谷・杉久保地区公園整備において民間活力導入により事業を推進していくにあたり、民間事業者との対話を通じて、本事業の可能性やその意向を把握するとともに、今後の事業実施に必要な諸条件を検討・整理していく際の参考とすることを目的に実施したものです。

2. 調査スケジュール

実施要領の公表	令和5年11月24日（金）
参加申込〆切	令和5年12月1日（金）
対話の実施	令和5年12月20日（水）～12月26日（火）

3. 参加事業者

参加企業数：15社（建設、造園、不動産、公園運営、リース、駐車場運営、遊び場運営、遊具メーカー等）

4. 主な意見

項目	主な意見
整備構想（案）について	<ul style="list-style-type: none">・民間施設として、カフェ・レストラン、物販、屋内遊戯施設、農産物直売所、ドッグラン、アスレチック、スポーツ施設等の設置が考えられる。・公共施設として、芝生広場、交流ラウンジ、遊具（大型複合遊具、インクルーシブ遊具等）、大屋根、管理事務所等の整備が考えられる。・防災拠点としての設備（防災かまど等）が必要。・SAを含む周辺施設との連携策や住み分けが重要。
事業スキームについて	<ul style="list-style-type: none">・条件によっては、Park-PFI等の手法による民間企業の参入も可能。・維持管理・運営期間は、15～20年程度が望ましい。
想定される課題やリスクについて	<ul style="list-style-type: none">・土砂災害警戒区域における安全対策、近隣住宅地への配慮、樹林活用に向けた市民理解等が課題と考えられる。・公募にあたっては、地元企業の参画促進や適切な事業費設定等が重要。
参画意向	・参加を検討したい：9社 条件が整えば参加したい：6社

5. 調査結果の取扱い等

- ・本サウンディング調査で寄せられた意見等は、今後の（仮称）大谷・杉久保地区公園整備に係る構想・計画の策定及び公募条件の検討等に活用します。
- ・具体的な提案内容については、参加企業のアイデア・ノウハウが含まれるため非公表とします。
- ・引き続き、サウンディング調査等によりご意見を伺いながら、公園整備事業を行ってまいります。